

# 第十三回 玄和全國競書大会優秀作品(IV)

## 白鷺賞

宮川 景泉

景泉の筆は、墨の濃淡を巧みに使い、墨の餘韻を活かして、墨の美しさを表現している。

鈴木 英晴

英晴の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

竹下 春洋

春洋の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

白石 翠葉

翠葉の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

岸 友子

友子の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

今年の玄和全国競書大会では、多くの書家が墨の美しさを競った。特に、景泉の筆は、墨の濃淡を巧みに使い、墨の餘韻を活かして、墨の美しさを表現している。また、翠葉の筆も、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

窪田 好美

好美的筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

原田 古瑠

古瑠の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

鹿嶋 陽子

陽子の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

小牧 幸恵

幸恵の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

重田 峰虹

峰虹の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

今年の玄和全国競書大会では、多くの書家が墨の美しさを競った。特に、好美的筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。また、古瑠の筆も、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

藤間 燈雨

燈雨の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

蛇原 淳子

淳子の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

藤岡 青苑

青苑の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

竹田 三彩

三彩の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

部谷 泰楓

泰楓の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。

龍尾 志津

志津の筆は、墨の濃淡と筆の運びで、墨の質感を強調している。



山實滿  
枝香

若林侑理菜

室閑茶  
味清

須藤 大岳

南過洞  
庭水

峰子

山清  
氣爽

Christine Schulback

黃菊  
紅菜

Sonja Bolon

而今憶  
共歸

弘子

冰流  
河帶斷

和氣 都子

之群  
絃慘漫

成子 梅香

劍  
百鍊

紫苑

鈴木 柴苑

字清  
寫

山守 直子

仁智也  
書於孝子

鈴木 孝子

不為零  
揮之

吉川 未希

四季生  
立風

中野 恵泉

應念倚  
門愁

朋代

小暮 朋代

羨君無  
外事

秋川

村田 秋川

朗詠

石動 美稀(中三)

年歲

横山 慧香(中三)

永和九  
諸國

森本 綾華(中三)

觀察

萩野谷美月(中三)

東越

鈴木 愛紗(高一)

輕車  
刻史上

原 望奈美(高一)

無比  
頑愚信

飯島 誠裕(高二)

舉飛

畠山理紗子(高三)

保國  
存宝

三枝 拓仁(中二)

朗詠

山崎 夢華(中二)

月影

斎藤 伶音(中二)

朗詠

久下 未希(中二)

寒梅

高野 真由(中二)

挑戰

福田華奈子(中二)

實行  
不言

新井 里奈(中三)

經濟  
產業

横山 寛子(中三)

落葉  
の山

熊倉 彩花(小六)

博識

黒川 果楠(中一)

花影

吉田 唯香(中一)

伊豆

原 れいか(中一)

富岳

石川あやめ(中一)

伊豆

山本玲菜

華麗

池田梨子

獨唱

富田羽澄(中一)



加藤 舞(小六) 高橋 友佳(小六) 飯塚さくら(小六) 萩野 実夕(小六) 坂井 疏花(小六) 佐野晴士郎(小六) 矢口 瞳(小六) 志田日葉里(小六)



山口 夢(小五) 大橋 恰果(小五) 田村 みゆ(小五) 薄葉 美月(小五) 水野豊之介(小五) 橋本 由奈(小五) 伊澤 涼乃(小六) 田島 菜摘(小六)



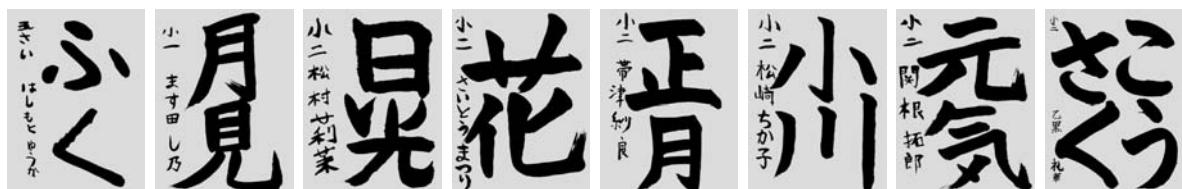
田中まつり(小四) スライムツツ希(小四) 田結 渚苑(小四) 固村 結愛(小四) 若山 嵐(小五) 川崎 日菜(小五) 加藤 彩水(小五) 岡本百合恵(小五)



固村 愛華(小三) 今井 望杏(小三) 戸水 香奈(小三) 由利 果音(小三) 春田 桃(小四) 柏森 彩乃(小四) 中川万莉奈(小四) 横山 千絃(小四)



小泉 涼乃(小三) 黒仁田潮音(小三) 大澤 明佳(小三) 矢澤 翔真(小三) 添田 珠里(小三) 根本 咲希(小三) 桃谷 華子(小三) 今本 乃愛(小三)



橋本 優花(幼年) 植田 詩乃(小一) 松村 莉茉(小二) 齊藤まつり(小二) 帯津 紗良(小二) 松崎 慎子(小二) 関根 拓郎(小二) 乙黒 礼華(小二)